その人らしく、最後まで「食べる喜び」をあきらめないために。

食べる可能性を、もう一度“評価”します

１０日間の専門チームによる「嚥下評価入院」

嚥下評価入院とは

約 10 日間、多職種で嚥下機能・食事場面・栄養・口腔・姿勢や活動性などを総合的に評価し、「今、どこまで安全に食べられるか」「どのような方法なら食べられるか」を検討する入院です。

たとえ嚥下機能の低下が進んでいる場合でも、当院では「食べたい」というご本人の思いを大切にし、少しでもお口から味わう体験を実施するなど食べる喜びを支える方法をご本人やご家族と一緒に考えていきます。

実際に入院した方のご感想

久しぶりに食べられて嬉しかった。
（訓練で舐めた）飴がおいしかった！
次はうなぎが食べたい！

もう食べられないと思っていたので、
このような入院に参加できて、
食べることができてよかった。
久しぶりに食べているところを
見られて嬉しかった。



このような方におすすめです

- ✓ もう一度「食べる」可能性を考えたい
- ✓ 今の食事形態が合っているか不安
- ✓ VF※などの専門的評価を受けたい
- ✓ むせや誤嚥が心配
- ✓ 本人の希望を尊重し、方針を整理したい

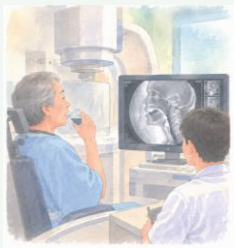
※VF（嚥下造影検査）とは、造影剤を混ぜた食べ物や飲み物を X 線透視化で飲み込んでもらい、その様子を動画で撮影して、飲み込みの状態や誤嚥の有無、安全な食事形態・姿勢などを詳しく評価する検査です。

１０日間で行う主な評価・支援

多職種での総合評価 医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・栄養士などで状態を確認します。	**嚥下機能の詳細評価** VF（嚥下造影検査）などを用いて、飲み込みの状態の評価をします。	**食べるための条件調整** 食形態・姿勢・介助方法・口腔ケアなど、その方に合う条件を検討します。
本人の思いを大切に 「食べたい」「こうしたい」という希望を伺いながら一緒に考えます。	**味わい体験** 状態に応じ、安全に配慮しながら味わう機会を検討します。	**退院後へつなぐ** ご家族や関係者の方へ、評価結果や具体的な訓練や介助方法をお伝えします。



１０日間の入院スケジュール

入院前	入院日	２日目	3～９日目	１０日目
入院説明・同意確認 （同意書サイン） 	各種検査 （レントゲンや採血） 多職種評価 身体・口腔・栄養 嚥下評価 入院についてご説明	VF（嚥下造影検査） カンファレンス 	摂食嚥下訓練 理学療法などリハビリ 	退院日 退院時説明・ 退院時指導 **味わい体験**

費用・入院までの流れ

費用

入院費用の概算に関しては、取得されている保険証の負担割合・食事代等により異なりますので、事務所にお問い合わせください。

入院までの流れ

ご相談・お申し込み → 事前確認 → 入院日調整 → 入院

※必要書類等は入院決定時にご案内します。

医療法人 宏徳会　安藤病院

〒496-0026　愛知県津島市唐臼町半池 72 番地 1

TEL：0567-31-4070

お気軽にお問い合わせください。